

津山文化センターにおける新型コロナウイルス感染拡大予防対策ガイドライン

令和2年7月1日
津山文化センター

本ガイドラインは、津山文化センターにおける新型コロナウイルス感染症拡大予防対策の実施にあたり、安全を確保するため、利用と管理についてのガイドラインとして作成しました。

なお、本ガイドラインは、公益社団法人全国公立文化施設協会が作成した「劇場、音楽堂における新型コロナウイルス感染予防ガイドライン」(2020年5月25日付)を参考としています。

今後、政府や公立文化施設協会のガイドラインの改定、岡山県、津山市の方針、地域の感染動向等も踏まえ、必要に応じて適宜改定を行います。

利用ガイドライン

利用にあたって本ガイドラインに基づく公演の実施が困難であると判断した場合は、利用許可ができないこともあります。また、公演中にガイドラインに従った必要な措置が講じられていない場合には、公演の途中であっても中止を要請させていただく場合もありますのでご了承ください。

利用申請時には「津山文化センター新型コロナウイルス感染拡大予防に関する同意書」をご提出いただきます。

なお、イベント開催制限の段階的緩和の目安に基づき、津山文化センター大ホールの収容制限は、収容人数1,003席の50%以下、利用座席数の目安は500席までとなります。

① 来場者に対して

- マスクの着用、咳エチケット、手洗い・手指消毒を徹底してください。
- ソーシャルディスタンス（社会的距離）の確保を徹底してください。
- 下記の場合、来場を控えてもらうことを、チラシ、ポスター、案内文書等で事前に十分周知するようにしてください。
 - ア 37.5℃以上の発熱がある場合
 - イ 咳・咽頭痛など（呼吸困難、全身倦怠感、鼻汁、鼻閉、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐）の症状がある場合
 - ウ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
 - エ 過去2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触がある場合など

- 来場者の氏名及び緊急連絡先の把握に努めてください。把握した個人情報、主催者の責任で管理し、公演終了後1ヶ月程度保管のうえ責任を持って破棄してください。なお、来場者から感染が発生した場合など必要に応じて保健所等の公的機関へ提供され得ることを事前に周知してください。
- チケット購入時に来場予定者等に対し、接触確認アプリ（COCOA）の利用を促してください。
- 入待ちや出待ちは控えるよう呼びかけてください。
- 基礎疾患をお持ちの方、妊娠中の方、未就学児童をお連れの方は関係機関の情報を参考にいただき、慎重な判断をお願いしてください。

② 会場入口

- 来場者に対し、マスクの着用を励行してください。必要に応じて来場者のマスクを準備してください。
- 来場者に対し、手洗い・手指消毒を励行してください。会場入口には、手指消毒用の消毒液を設置したり、必要に応じて入場口を制限することも検討してください。
- すべての来場者に対して非接触型体温計等による検温を検討してください。
- 会場入口の待機列は、最低1m（できるだけ2mを目安）の間隔を空けた整列を促す等、人が密集しないよう工夫してください。

③ チケット窓口

- チケットを対面で販売する場合は、アクリル板や透明ビニールカーテンにより購買者との間を遮蔽するよう努めてください。
- チケット窓口の行列では、最低1m（できるだけ2mを目安）の間隔を空けた整列を促す等、人が密集しないような工夫をしてください。
- 現金の取り扱いをできるだけ減らすため、オンラインチケットの販売やキャッシュレス決済等も検討してください。

④ 入場時

- 入場時のチケットのもぎりの際は、マスクやフェイスシールド等を着用してください。また、感染拡大防止や3密を避けるため、来場者自身で半券を切り取って箱に入れ、公演主催者がそれを目視で確認するといった方式等、もぎりの簡略化の導入も検討してください。
- 余裕を持った入場時間を設定し、券種やゾーンごとの時間差での入場・開場時間の前倒し等の工夫を行ってください。
- パンフレット・チラシ・アンケート等は極力手渡しによる配布を避け、テーブル等に置き、お持ちいただくなど工夫してください。

⑤ ホワイエ

- 飲み物以外の食事は禁止とさせていただきます。
- 対面での会話を回避するよう表示や館内放送等により促すようにしてください。
- 公演前後及び休憩中に、人が滞留しないよう、段階的な会場入り等の工夫を行ってください。また、休憩時間は長めにとるようにしてください。
- 人と人との距離を最低1m（できるだけ2mを目安）確保するよう努めてください。
- テーブル・椅子等の消毒を定期的に行ってください。

⑥ ホール内

- ホール内ではマスク着用を必須とし、来場者同士の接触や会話を控えていただくよう周知してください。
- 座席は原則指定席にしてください。
- 座席の最前列は舞台前から十分な距離を取り、左右（できれば前後も）を空けた席配置、又は距離を置くことと同等の効果を有する配置等に努めてください。
また、座席の移動は禁止としてください。
- 来場者と接触するような演出（声援を惹起する、来場者をステージに上げる、ハイタッチをする等）は行わないようにしてください。
- 客席扉の開閉は、来場者が触れないよう公演主催者（スタッフ）で行ってください。
- ホール内は、空調設備の適切な運用により効果的な換気と空調に努めます。また、機械換気に加え必要に応じて窓の開放等による換気も行ってください。
来場者にはホール内の温度が適温にならない場合があるため、体温調整のできる服装でお越しいただくよう事前に周知してください。
- 当面の間、親子室のご利用は中止とさせていただきます。

⑦ トイレ

- 余裕を持った休憩時間を設定し、トイレの混雑緩和に努めてください。
- トイレの混雑が予想される場合、来場者に対し最低1m（できるだけ2mを目安）の間隔を空けた整列を促してください。
- トイレの使用後は、蓋を閉じてから流すよう周知してください。

⑧ 楽屋・控室

- 常時換気に努め、密にならないようにしてください。
- テーブル・椅子等の物品の消毒を定期的に行ってください。
- 紙皿やコップは使い捨てのものを使用し、ゴミは公演主催者でお持ち帰りください。
- 楽屋への訪問は禁止とします。
- 出演者へのプレゼントや花束、差し入れ等は控えるように呼びかけてください。

⑨ 物販

- 物販に関わる方は、マスクやフェイスシールドの着用、手指消毒を徹底してください。
- 対面で販売を行う場合、アクリル板や透明ビニールカーテンにより購買者との間を遮蔽し、最低1m（できるだけ2mを目安）の間隔を空けて整列してください。
- 多くの方が触れるようなサンプル品・見本品は取り扱わないでください。

⑩ 感染が疑われるものが発生した場合の対応策

- 感染が疑われる者が発生した場合、速やかに別室へ隔離を行うとともに当センター職員に報告してください。
- 対応するスタッフは、マスクや手袋の着用を徹底してください。
- 速やかに、医療機関及び保健所へ連絡し、指示を受けてください。

⑪ 退場時

- 余裕を持った退場時間を設定し、券種やゾーンごとの時間差での退場や出口を数カ所設ける等の工夫を行ってください。

⑫ 公演関係者への感染防止策

- 公演の運営に必要なスタッフは、必要最小限の人数としてください。
- 公演主催者は、公演関係者の氏名・緊急連絡先を把握してください。
- 公演関係者にも接触確認アプリ（COCOA）の利用を促してください。
- 各自検温を行い、下記に該当する場合は、自宅待機とするようにしてください。
 - ア 37.5℃以上の発熱がある場合
 - イ 咳・咽頭痛など（呼吸困難、全身倦怠感、鼻汁、鼻閉、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐）の症状がある場合
 - ウ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
 - エ 過去2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触がある場合 など
- 出演者には、表現上困難な場合を除き、原則としてマスクやフェイスシールドの着用を求めるとともに、出演者間で十分な間隔をとるようにしてください。また、手指消毒を徹底してください。
- 機材や備品、用具等の取り扱い者を選定し、不特定者の共有を制限するようにしてください。
- 仕込み・リハーサル・撤去等は、十分な時間を設定し、不特定者の共有を制限するようにしてください。
- その他、稽古や仕込み・撤去等においても十分な感染防止措置を講ずるようにしてください。

- 公演終了後は、舞台裏、楽屋や控室からは速やかに退去してください。
- 公演関係者に感染が疑われる場合には、保健所等の聞き取りに協力し、必要な情報提供を行ってください。

管理ガイドライン

津山文化センター施設管理従事者が、会館運営にあたって新型コロナウイルス感染拡大を防止するためのガイドラインです。

施設管理従事者の感染防止対策

- 出勤前に体温測定を行い、平常時より体温が高い場合、倦怠感や息苦しいなど体調不良がある場合は、就業せず自宅待機とします。
- マスク着用での案内対応のほか、手洗い、うがい、手指消毒を励行しております。必要に応じては、フェイスシールドや手袋を着用します。
- 緊急連絡先や勤務状況を把握し、感染が疑われる場合には、保健所等の公的機関の聞き取りに協力し、必要な情報提供を行います。
- ユニフォームや衣服のこまめな洗濯を行います。

消毒

- 施設内のドアノブや手すり等、不特定多数が触れやすい場所の消毒を定期的に行います。また、抗菌抗ウイルス剤を塗布することで、不特定多数の人が触れる場所の接触のリスクを低減します。
- 施設出入り口や共有スペースには手指消毒剤を設置します。
- 舞台、音響、照明等の機材や備品等は、消毒して拭き上げた状態で貸し出します。
- 公演前後は、施設内の消毒・清掃等を行うために必要となる時間を確保します。

換気

- 2018～2020 年にかけて実施された改修工事で新たに設置された空調設備の適切な運用により、効果的な換気と空調に努めます。また、機械換気に加え必要に応じて窓の開放等による換気も行います。

トイレ

- 不特定多数が接触する場所（スイッチ、便座、洗浄レバー等）は、抗菌抗ウイルス剤を塗布し、定期的に清掃拭消毒を行います。
- トイレの蓋を閉めて汚物を流すように表示します。
- 男性用小便器は、1つ空けて利用いただくよう表示します。
- トイレには、手洗い用の液体石鹸を設置します。
- ソーシャルディスタンス確保の表示を行います。

清掃・ゴミの廃棄

- 清掃やゴミの廃棄を行う者は、マスクやゴム手袋の着用を徹底します。
- 作業を終えた後は、手洗いを行います。

周知・広報

- 各取り組みについて、館内掲示・HP 等を通じて周知に努めます。
- 各種注意喚起の表示を行います。
- 咳エチケット、マスク着用、手洗い・手指消毒の徹底要請を行います。
- ソーシャルディスタンス確保への協力要請を行います。
- 大声や対面での会話を控えることを協力要請します。
- 館内では、原則水分補給のみとし、その他飲食は控えるよう要請します。

保健所との関係

- 施設における感染予防対策及び感染の疑いのある者が発生した場合には、速やかに連携が図れるよう、保健所との連絡体制を整えます。

その他

- 体調を崩されたお客様を案内する別室を確保します。
- 公演中は、適切に感染防止策が行われているか確認を行います。
- 管理者自身が公演を開催する場合も「利用ガイドライン」に従います。